

■長崎県内社会福祉法人の地域における公益的な取組事例の紹介

取組類型	取組の名称	取組内容	好事例のポイント	所在地
生活困窮者支援	生計困難者レスキュー事業	長崎県内の複数法人が連携し、拠出した資金を原資にして、緊急的な支援が必要な生計困難者を対象に、専門職による相談支援と併せ、食料の現物給付等の経済的援助を行う。	①長崎県内の複数法人が連携して実施している事業である。 参加するためには、必ずしもコミュニティソーシャルワーカーの設置を要件としておらず、小規模法人も日頃の業務を通して対象になる方がいた際には幹事法人へ繋ぐなど相談窓口として大きな役割を果たしている。 ②生計困難者の状況により、制度的な支援がすぐさま行えない場合であっても、行政・社協等の関係機関と連携し、制度就労につながるまで緊急的な援助を行っている。	長崎県内 (約100法人)
居場所づくり	おもちゃ図書館	地域住民に施設の一部を開放し、自由に入出りできるおもちゃ図書館を提供している。	施設がより身近なものと感じることができるよう、365日利用可能なおもちゃ図書館を運営している。児童も多く利用しており、おもちゃを通して、児童と高齢者が交流できる空間を地域に創設している。	南島原市
	ひととまちとくらしの学校【ディスクール】	特別養護老人施設内の地域交流センターを活用し、「学び」「体験」を通して様々な世代が集えるスペースを運営している。	地域の方や職員が、「好き」や「得意」を活かして先生や生徒となり、安価もしくは無料にて教育プログラムを提供している。地域の子ども、高齢者、職員、利用者、障害のある方等様々な方が同じ空間に集まり、日常的に交流できる場となっている。	長与町
健康づくり	WAC倶楽部	開催ごとに外部講師を招き、地域交流や介護予防の啓発を行う。	月2回11種の教室で開催し、ゲンキハツラツ体操等介護予防に資する運動や、写真教室、手芸教室等の文化活動も行っており、様々な活動を通して、地域の交流を深める事業となっているとともに、専門の外部講師を招き、質の高い内容となっている。	長崎市
	1Day講座	開催ごとに外部講師を招き、地域交流や介護予防の啓発を行う。	継続的な教室に対し、活動のきっかけづくりを視野に1日限りの教室を開催している。時には、行政と協働し、認知症サポーター養成講座を開催する等、地域包括ケアの取組を率先して行い、地域福祉の向上に貢献している。	
	ノルディックウォーキングINながよ	ノルディックウォーキングインストラクター資格をもつ理学療法士や介護福祉士などの施設職員が、参加者とともにノルディックウォーキングに参加し、介護予防及び地域の交流を目的として開催している。	年齢制限もなく、参加費も無料であるため、児童から高齢者まで幅広い年齢層が参加可能な取組である。また、定期的(月2回程度)に開催されているため、健康づくりにも良く、参加機会も多くあり、地域に根付く活動となっている。	長与町
相談支援	地域子育て支援センター	子育て親子の交流の場、子育てに関する相談・援助	親子交流の場を提供し、子育て経験者の話を聞くなど子育ての孤立化を防ぐ。 保健師や栄養士等の講習会を開催し、子育て家庭の総合的な支援を行う。	五島市
その他	僻地保育所へのお弁当配達事業	給食がない僻地保育所の児童に対し、保護者と契約して特別養護老人ホームで調理した弁当を毎日配達する。	共働き世帯の子育ての負担軽減及び生活支援に繋がっている。また栄養士によるメニューによって栄養管理されている。	五島市